

令和2年第2回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和2年6月25日～
議事録（抜粋）

6 道路交通を含む中長期的なまちづくり整備について

○松本議員

6 道路交通を含む中長期的なまちづくり整備についてですが、まちづくり整備は時間がかかります。そのため将来を見据え中長期的な視野で取り組まなければなりません。

阪急京都線連続立体交差事業、千里丘駅西地区再開発、自転車ネットワークの構築、それに伴う道路交通環境整備、また十三高槻線と中央環状線との交差点での暫定道路設置などの府道整備が重要となります。

まずは本市の道路ネットワーク構築について、どうお考えかお聞かせください。

(略※)

○村上議長

建設部長

○高尾建設部長

道路交通を含みます中長期的なまちづくり整備についてのご質問にお答えいたします。

本市域の広域道路ネットワーク構築に向けた取り組みといたしましては、南北に縦断する大阪中央環状線及び東西に交差する大阪高槻線や大阪高槻京都線の交通渋滞が慢性化している状況は長年の課題であり、その抜本的解決のため、十三高槻線の1日も早い全線開通が望まれるところであります。

また、現在、正雀工区の令和5年の本線完成に向け建設中ではありますが、その後の令和8年度の鳥飼仁和寺大橋の無料化に合わせ、大阪中央環状線と十三高槻線の交差部の事業規模・期間をコンパクトにした整備案を大阪府に提案しており、現在改定作業中の「大阪府都市整備中期計画」に位置づけ、1日も早い全線開完成が実現されるよう、強く働きかけて参ります。

(略※)

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松本議員

次にまちづくり整備について、道路ネットワーク構築について理解しました。また千里丘駅西地区再開発での事業協力者募集も締め切ったところですが、健都との連携、阪急京都連続立体交差事業との連携も含めた市内交通の整備を、今後どう進めていくのかお考えをお聞かせください。

○村上議長

建設部長

○高尾建設部長

千里丘駅西地区市街地再開発事業は、摂津市の顔となる拠点形成する事業であり、その効果を最大限に発揮させる上でも、健都まちづくりとの連携は欠かせないものと考えております。

また、阪急京都線連続立体交差事業は踏切除却や環境側道と関連道路の整備を実施するため、両事業により各鉄道駅へのアクセスは飛躍的に向上することとなります。

さらに、千里丘三島線は、JR千里丘駅と阪急摂津市を連絡する本市の骨格をなす道路であり、大阪中央環状線から大阪北部広域防災拠点である万博記念公園へつながる防災上も重要な路線となるため、全線の歩道整備を早期に進めることといたします。先にお答えいたしました府道の広域ネットワーク構築に合わせて、これら市内の道路ネットワークの充実を図ってまいりたいと考えております。

○村上議長

松本議員

○松本議員

是非ですね、道路ネットワーク・交通整備について充実して頂ければと思います。ただ市民の生活を支える地区内の道路においては狭隘な道路が多くあり、通行に支障をきたしています。これら道路ネットワークの構築と合わせて、狭隘道路の拡幅とともに交通安全対策を進めていく必要がありますが、今後どう取り組んでいくのかお聞かせください。

○村上議長

建設部長

○高尾建設部長

お答え致します。市民の生活を支える地区内の道路につきましては、狭隘な道路が相当数存在しており、良好な住環境を形成していくためには、幹線道路に接続する狭

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

隘道路から連続して解消していくことが必要であります。

現在、より実効性と効果のある事業となるよう、新たな支援制度の検討を進めており、実施にあたりましては狭隘道路整備の進め方を示します計画を策定して参ります。

また、交通安全対策につきましては、本年3月に策定しました「自転車活用推進計画」に基づき、自転車通行空間の整備や、人生100年のドライブの推進と、通学路や未就学児移動経路などの交通安全対策を総合的に取り組みまして、安全で円滑な通行空間の確保を目指してまいります。

○村上議長

松本議員

○松本議員

百年ドライブも含め多くの施策を検討・実施することを理解しました。是非、進めて頂ければと思います。

改めて、市長にお伺いします。道路交通を含めたまちづくりを今後どうしていくのか是非、包括的に聞かせ頂ければと思います。

○村上議長

市長

○森山市長

松本議員の道路行政に対する質問にお答え致します。道路行政と言いますと、今、摂津市では十三高槻線の完全竣工に向けて工事が進められております。それから令和8年の鳥飼仁和寺大橋の無料開放、また健都イノベーションパークもあり、それから阪急連続立体交差事業、千里丘の西のまちづくり等々と進行しつつあるわけでございます。これらの事業の一つ一つのインパクト、これを活用して、これからのまちづくりと言いますか成長に繋いでいかななくてはならない訳ですけれども、一つ一つが摂津の道路行政と直接・間接かかわってまいります。

釈迦に説法となりますけれども、道路には国道・府道・市道・私道の大きく4つに分かれますけれども、摂津市の中には、合計約300kmの道路がはしっているわけです。これはどっかにつながっております。これは人間の血管と同じでどこか一部、不都合が起こりますと、全体に影響が出てくるわけでございます。そういう意味では、所管する部署といいますか、そこがしっかりとそれぞれの整備・管理、これをしなくてはなりません。そういう意味では関係機関、また近隣各市との連携・連絡調整が非常に大切になってまいります。300kmはしっていると今、言いましたけれども、そのうちの200kmが摂津市が直接管理するいわゆる摂津の市道、約200kmです。そういうことこの中には、避難道路軸となっている千里丘三島線の大きな道路から地域の狭い、狭隘路

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

道路等々、色々ございます。これらの道路をこれから整備していく、これは中長期的なしっかりとした計画といたしますか、取り組みをしていかなければなりません。そういうことで、道路整備の優先順位といたしますか、計画、こういったところをしてやって取り組むことが、これからのネットワークの充実した住みよいまちづくりに繋がっていくのではないかと。そういうことで、今後しっかりと取組んでいきたいと思っております。

○村上議長

松本議員

○松本議員

ありがとうございます。道路と言えばやはりまちづくりの骨幹でございます。是非、道路ネットワークの構築、そして狭隘道路の整備、交通安全対策まで一体的に事業を進め、また国・府そして隣接市との連携も踏まえてより住みよいまちを築いていくことを要望致します。

なお交通安全対策については市民ニーズも多く、警察との連携も積極的に行って対応することを要望致します。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 アフターコロナでの学校教育の充実について
- 2 アフターコロナでの中小企業支援と相談体制強化について
- 3 時代ニーズに応じた墓地行政について
- 4 持続可能な次期一般廃棄物処理基本計画に向けて
- 5 シティプロモーション戦略の具体化について
- 6 道路交通を含む中長期的なまちづくり整備について
- 7-1 新たな危機管理体制について
- 7-2 市の新型コロナウイルス感染症対策体制について
- 8 市のガバナンスについて

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]